

敬和学園高等学校 PTA 総務部主催

「葦の会^{あし かい} ~保護者の悩みと敬和教育について語り合う会~」 ご案内

敬和学園高等学校の PTA 総務部で話し合いを重ね、10月11日に第1回目となる「葦の会」を開催しました。「葦の会」とは、現在、不登校中のお子様を持つ保護者やお子様が不登校を経験した在校生保護者が集い、互いの悩みを聞き、また敬和学園の教育についても語り合う場です。学校のオープンスクールのような大人数の場では話せないことも、「葦の会」のような場なら話しやすいこともあると思います。以前、敬和学園では定期的に「葦の会」が開催されてきました。しかし、しばらく開催されておらず、PTA 総務部内で「葦の会のような保護者が語り合える場が必要ではないか」ということを話し合い、第1回「葦の会」を開催しました。第1回「葦の会」には在校生保護者、中学生保護者、ゆかり会の方、学校の教師など22名の参加がありました。それぞれにお子さんの状況や子育ての悩みなどを分かち合う場となりました。

「葦の会」の葦とは、旧約聖書に出て来る草で、日本でも川などに生えています。聖書の時代、茎などが強い草は籠を編んだり、さまざまな物に利用され重宝されていました。しかし、葦は茎が弱く、すぐに折れてしまうため、聖書の時代に葦は大事な草とは見られていなかったそうです。そのように葦はすぐに折れてしまうことから、葦=弱さ、もろさの象徴として見られてきました。私たち人間も葦のように弱く、もろい部分があります。聖書のさまざまな物語の中で、イエス様は人の弱さやもろさを受け止め、決して見捨てることはしませんでした。むしろ、聖書には「弱さを誇ろう」と記されています。敬和学園高等学校はキリスト教を土台に据えた学校です。生徒や保護者一人一人の弱さを受け止め、みんなで共に歩むことを大切にしている学校です。子どもたちが学校生活の中で悩むこと、学校に行けなくなること、また保護者が子どもたちに向き合う中で悩むことなどたくさんあると思います。その悩みや課題を語り合える場所や機会はこの社会の中で少ないように思います。敬和学園は弱さを抱えている子どもたちや保護者の居場所や受け皿になり得る場所ですし、一人一人を大切にする教育があります。第2回「葦の会」でも互いの悩みを聞き合い、分かちあう機会になればと願っています。

敬和学園高等学校 PTA 総務部 部長 三浦 啓

【第2回「葦の会」】

日時：2024年12月19日（木）18時～19時30分頃

場所：敬和学園高等学校 応接室（2階 / 正面玄関に案内係が立つ予定です）

対象：不登校中のお子様を持つ保護者・中学生、お子様が不登校を経験された在校生保護者、その他さまざまな悩みを抱えておられる保護者、ゆかり会

主催：敬和学園高等学校 PTA 総務部

*駐車場は構内の駐車場（構内の坂を上がり、チャペルの手前を右折し、学校のバスを通り過ぎて奥にある駐車場をご利用ください）